

足立区議会議長 た だ 太 郎 様

足立区議会議員 12番 しぶや 竜 一 印

一 般 質 問 通 告 書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行 政 区 分	質 問 の 要 旨
1 政策経営行政	1 こども・若者に寄り添う足立区へ！ (1) こども・若者の緊急避難支援策について こども・若者が犯罪に巻き込まれないように、また、手を染めないようにと考え、日々、少年補導員として活動をしているが、実際にそのような事例が多く発生しており、補導件数も増加している。 昨年の第二回定例会において、緊急避難先ともなるこども若者シェルターの整備を国と同様にしていくべきであるという私の質問に対し、こども家庭庁の動向、こども支援センターげんきなどといった庁内関係部署と連携して検討するとの答弁であり、その後、こども家庭庁としては検討会を重ね、ガイドラインも策定した状況であるが、区としてはどのような考えになっているのか。進捗状況、見解を伺う。
2 教育指導行政	(2) 子どもの体力向上施策について 第2期第1回子どもの健康・生活実態調査によると、肥満傾向は全国と比較しても低くなっているが、週3回以上運動する子どもが減少している。これまで子どもの体力向上施策については様々な場面で議論してきたが、変動が無いことを受け、違った視点からできることはしていくべきであると感じている。 この実態調査をふまえ、現状を知ってもらう機会をつくることは重要であると考え。各学校等での体力測定会の際には保護者の参観を可能にし、実態調査の報告書の配布等を行い、現状を把握してもらうなどといったサポート体制を検討してみてはと思うがどうか。区の見解を伺う。
	6月18日 午前・午後 8時30分受付 質問時間 20分

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
3 子ども家庭 行政	(3) 総合型地域クラブのあり方と部活動の地域展開との関連性について 以前、会派の勉強会で、当時は部活動の地域移行についてということであったが、東京都教育庁の担当から、現状の把握と今後の見通しなどを聞く講演会に参加した。 区教委は昨年1月に、今後の部活動のあり方を検討するため、部活動に関する教員・生徒・保護者向けアンケート（意識調査）を実施したが、教員の負担割合の高さが目立つ一方で活動時間を増やしたい生徒の割合も高いことから、地域との連携、指導者の方針等は欠かせないと改めて感じた。 ①講演会の話を受け、人材不足の連鎖の中、人材確保、人材育成もしくは派遣といったことは簡単ではないと感じたところであるが、部活動を地域移行から地域展開にしていくという国の考えをふまえ、区教委は現時点でどのように考えているのか伺う。 ②今年度中に実施する、部活動地域移行モデル事業実施に伴う教員及び生徒へのアンケートは大変重要であり、調査結果について他区と情報共有し、また、東京都と連携、意見交換をすべきであると感じるがどうか。 ③総合型地域クラブ及び民間企業との連携強化、協力は欠かせない中でモデル事業を今年度より進めていくが、どのような進展があったのか伺う。 ④外部指導員については、指導が厳しすぎるといった意見もあれば、外部指導員がいなくなってしまったからやりがいを感じなくなり、目標を見失っている子どもたちの声など、賛否両論の意見を聞く。外部指導員のあり方について、区はどのような検討を行っているのか伺う。また、外部指導員から指導を受けている子どもたちや保護者へのアンケート調査（意識調査）は実施しているのか、併せて伺う。 (4) 学童保育室の確保について 学童保育室の確保について、区が迅速に対応していることは大変ありがたいことであると感じているが、利用している保護者の方々の声を検討していただきたい。 ①古千谷本町地域においての学童保育室の整備においては早急に対応していただいたが、現状の進捗状況を伺う。 ②夏季休暇中における、昼食時の宅配弁当利用者への補助や、熱中症

	1 2 番 しぶや 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
4 地域のちから 推進行政	対策のための学校体育館の活用など、今後は学校施設の利用を進めていくべきであると考えているが、見解を伺う。 (5) 硬式野球場の整備について 野球の出来る環境づくりを軟式、硬式問わず、区として推進していただきたいという思いはこれまでも伝えさせていただいたが、改めて伺う。 ①何度も主張しているが、舎人公園に硬式野球場の新設は出来ないものなのか。東京都にも現状を伝え、協議をしていただきたいが、伺う。 ②(仮称)平野運動場公園基本構想(素案)の中で、軟式野球場のフェンス等を改修するとあったが、試合(大会)ではなくても、硬式野球の練習ができないか伺う。 ③上沼田東公園野球場において、硬式ボールでのキャッチボールが可能となったが、ノック、トスバッティングなどもあわせて利用可能とならないか、区の見解を改めて伺う。 ④各学校において、野球でのスパイク利用は原則禁止となっているとのことだが、それはなぜか。安全面を考えると、各学校での公式戦のスパイク使用は認めてあげるべきだと思うが、区の見解を伺う。
5 都市建設行政	(6) アーバンスポーツ施設について 昨年3月にオープンした荒川区南千住高架下の「ランプゼロ」と、昨年4月にオープンしたすみだスケートボードパークを視察した。子どもたち、若者とあわせて、体幹トレーニングの一環として始めたという高齢者の方々も見られた。苦情の現状や、近隣の方々に音が伝わらずに迷惑をかけないでできるのか、せめてそのような調査には踏み切ってもらいたいと考える。 ①東京都は検討するとのことであるが、日暮里・舎人ライナーの利用者増加を望んでいるのであれば、安全対策等を考慮したアーバンスポーツ施設、舎人公園への新設について、改めて東京都と協議してもらいたいと思うがどうか。 ②区立公園の整備の際にも、アーバンスポーツ施設の検討を視野に入れていくべきである。可能性があるならば、入谷地域の首都高高架下の活用を検討してもらいたいと思うが、区の見解を伺う。

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
6 福祉行政	(7) デフリンピックについて 東京2025デフリンピックが11月に開催される。区はパラスポーツイベントや出前授業において、アスリートとのコラボやパネル展示など、デフリンピックの普及啓発に努めているところである。 ①アルペンスキーの銀メダリストでもある、足立区出身の田苗優希選手からも「まだまだデフリンピックの認知度が低い中で足立区のように周知、告知をしていただけて嬉しい限り」とのメッセージをいただいた。だからこそ、東京武道館が空手の会場となっており、区として関わりがある中で、PRにはより一層力を入れてもらいたいと感じるがどうか。 ②若い世代の方々にも、デフリンピックのことを知ってもらうきっかけをつくってほしいと考える。東京都の約3,000人のボランティアの募集に際し、約19,000人の方々から応募があったと聞いている。区としても、スポーツ推進委員、ろう者協会の方々と連携し、区独自のボランティア募集も検討してみてはどうか。
7 地域のちから 推進行政	(8) eスポーツについて IOC（国際オリンピック委員会）では、eスポーツが正式にスポーツ競技として認められ、2027年にはサウジアラビアで初めてのeスポーツオリンピックが開催される。足立区でも過去にギャラクシティで小中学生を対象としたeスポーツの大会が開催されており、今後注目度が高まるものとする。 eスポーツは若い世代の割合が非常に高く、いわゆる「Z世代」や「ミレニアル世代」が6割を占めている。活躍の場の拡充という観点から、区としても小中学生だけでない若い世代向けに、eスポーツの大会、イベント等を開催してはどうか。区の見解を伺う。
8 政策経営行政	(9) 広報について SNSでの情報発信は欠かせないと感じている中、我が会派としてもかねてより強く要望していた区の公式Instagramが開設された。墨田区、葛飾区、江戸川区、渋谷区等でも公式Instagramを開設しており、他の自治体の情報発信を見ても発信力の工夫について、いま一度全力を挙げて取り組んでいただきたいと感じている。 しかしながら、約7万人が公式LINEの登録をしているのに、公式Instagramのフォロワー数は約2700人（通告時）と結びついていない。Instagramは区の魅力のPRや先日の花火大会の中止の経

	1 2 番 しぶや 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
9 都市建設行政	緯、延期ができない理由等の発信に取り組んでいただきたい。また、若い世代への情報発信だけでなく声を拾うツールとしての機能も果たしてほしい。今後、SNSの活用方針については見直していくべきではないか。区の見解を伺う。 2 舎人・入谷・古千谷本町地域のまちづくりについて (1) 舎人四丁目公園について ①令和8年度以降の改修工事について、「毛長川沿いの休憩のできる公園」をテーマとしているが、手を洗える水道やトイレや遊具の設置について、区は要望にこたえられないとしている。トイレに関しては、近くの親水公園沿いのトイレの利用ができることから仕方ないとは思いますが、新たな遊具については一つも設置しない方向として区としては考えているのか。見解を伺う。 ②(仮称)舎人三丁目第二公園と同様に、地域の方々から少しでも愛着を抱いてもらうために、名称やアイデアの募集を子どもたちから提案していただけるよう、近隣の学校に協力してもらいたいと考えるが、区の見解を伺う。 (2) (仮称) 舎人三丁目第二公園について ①令和6年11月から実施設計を進めており、スケジュールを見直し令和8年度に工事着手となったが変更はないか。あらためて伺う。 ②アンケート調査では、ボール遊びコーナーの設置を求める声が多かった。ボール遊びコーナーを設けるのではなく、ゴムボールのような柔らかいボールで遊ぶことができるよう、一般的な公園ルールに基づいて運用を進めていくとの考えであるが、どこまでのボールが利用可能なのか。 サッカーボールを利用したいとの声も説明会ではあったように感じたが、そういったボールの利用は可能なのか。ボール遊びコーナーを設けたほうがいいのかとは感じるが、区の見解を伺う。 (3) 足タク実証運行について ①本年4月から本格運行となったが、現状の利用率はどうか伺う。 ②現状、4社のうち主体的に配車しているのは2社と聞く。今後、利用者が増加し、予約が埋まっているという状況はなるべく避けたいと考える。新たに募集をかけて、協力してもらえ事業者数の確保も検討すべきであると思うがどうか。 ③花畑地区における地域内交通、常東地区における地域内交通の実施

	1 2 番 しぶや 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
10 危機管理行政	状況次第では、配車、事業者との連携を図り、システム改善策も同時に考えていくべきであると思うがどうか。 ④はるかぜ3号が廃止となり、西新井までの交通を求める声を多く耳にする。足タクのエリア拡大なのか、新たな交通システムの導入なのか、検討していく必要があると思うが、区の現時点での見解を伺う。 （４）日暮里・舎人ライナーについて ①区長は1月に「日暮里・舎人ライナー混雑対策についての要望書」を東京都交通局長あてに提出した。平日昼間や土休日の利用促進に際し、東京都とさらなる連携強化を働き、混雑緩和に関する課題解決に向け、より一層取り組んでいただきたいと考える。 バスを活用することについて、東京都が主体的になるように強く働きかけることとあわせて、全てのライナーの駅に掲示する予定であるポスターも目立つよう、分かりやすい周知を東京都に要望していただきたいがどうか。 ②今年は世界陸上が34年ぶりに東京で開催される。普段から利用率が低く、区内外からもったいないと思われる陸上競技場の利活用向上に向けたPRが、日暮里・舎人ライナーの日中の利用者促進にもつながると考える。世界陸上開催に伴い、都立公園でもある舎人公園の陸上競技場でのイベント等を、足立区として東京都に打診していくべきと考えるが、区の見解を伺う。 ③痴漢対策として、デジポリスなどの防犯アプリの周知なども記載された啓発ポスターがあったが、防犯カメラの周知徹底も行っていたきたい。 いまだに防犯カメラがついていないと判断している方も多いことから、無人運転での痴漢対策、不審者についての対応、防犯カメラの啓発、また、いざというときのための連携強化、防犯対策における対応強化、安全強化を東京都に再度働きかけていくべきであると思うがどうか。 （５）アレフ対策について 地下鉄サリン事件発生から今年は30年目の節目となった。事件の風化防止のためには、若い世代の方々の協力は欠かせないと思う。 区内大学と連携を図り啓発活動を行い、抗議活動に総合型地域クラブの方々に協力を求めるなど、一体となって取り組んでいるが、公安調査庁のホームページでアレフの現状を知ることができる専用アクセスがあることを区から発信していくために、公安調査庁からも綿密

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
11 地域のちから 推進行政	に情報発信していただきたいとも感じる。公安調査庁との更なる連携強化を図っていくべきだと思うがどうか。 (6) 防災に関連した町会・自治会加入率の向上について 町会・自治会加入率の低下は足立区だけでなく、全国的な課題である。地元の町会では新たな取り組みとして、防災意識の向上を図るために防災関係の部署を町会の中の一つの専門組織として設置していく動きがある。避難所運営訓練、消防団とのさらなる連携強化、イベントでの啓発活動といったことに加え、防災講座も考えている。 区に相談した際、補助金の活用や地域の活性化の事業、防災に向けて手厚い支援策がいくつもあることをあらためて知り、大変素晴らしいと思うと同時にもったいないとも感じた。今後、区全体として災害対策に備えるための工夫を凝らしていくことも大切であるが、地域の方々がそのような補助金やサポート体制があることをなにより知ってもらい、地域と子ども・若者が防災を通じて交流する場を提供し、町会・自治会加入率の向上を図るべく各地域に協力してもらうことが大切であると考えているが、見解を伺う。
12 資産活用行政	(7) 旧入谷南小学校跡地活用について ①旧入谷南小学校跡地について、災害対策拠点施設整備として重要視し、職員の確保や備蓄スペースの確保といったことに区としても力点を置いていることと思うが、説明会の開催等を含めた地域の方々への寄り添った対応、今後のスケジュールはどのように考えているのか、見解を伺う。 ②舎人・入谷地域では、あだちご近所マルシェなどが頻繁に開催され、介護複合型施設等で地域コミュニティの場が設けられている。このような地域コミュニティスペースの確保を幾度となく要望してきたが、区の考えを改めて伺う。
13 都市建設行政	(8) 古千谷橋排水場跡地活用について 令和7年度に修正設計となった古千谷橋排水場跡地活用は、近隣住民への説明会の開催、今後のスケジュール等、どのようになっているのか。現段階での進捗状況を伺う。